



# はまつこと共に

令和2年1月24日



射水市立新湊小学校

## 新しい元号「令和」の第3学期が始まりました！

校長 森 悦郎



令和2年、子年は昨年につき、穏やかな三が日で始まりました。1月8日（水）より第3学期が始まり、子供たちの元気な声の新湊小学校に戻ってきました。始業式では、各学年代表から力強い今年の日当ての発表がありました。その後、元号が改まったの正月だったことから、令和は、万葉集の「初春令月 気淑風和」の言葉（春を迎えたすばらしい月で、天気もよく、穏やかな風が吹いている様子）に由来し、穏やかで美しい未来を期

待させる元号であることを伝えました。第3学期は「はまつこの『は：はきはき挨拶、ま：学ぶ、まねる、守る、つ：伝える、つなぐ、続ける、こ：心豊かに』」の中でも特に、心豊かにの「やさしき」について話しました。優しい行動は、生まれつきもっているのではなくて、周囲の人から受けた優しさや、そのような場面をしっかりと見ることによって「心のコップ」に、優しい心が満たされ、溢れ出たときに行動として表れることが多い。また、そのような優しさが理解できる、感謝の心がもてることが大切であることも伝えました。

第3学期は短い期間ですが、それぞれの学年（6年生は小学校6年間）のまとめをする大切な期間です。令和2年の目標をもって、「今日の自分は、昨日の自分より成長している」と言える新湊小学校のはまっこであることを期待して結びとしました。この後、大きな行事として5～6年のスキー学習、版画大会、学習参観、8の字なわ跳び大会等を予定しています。本年も保護者の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いします。

### 校内書初大会

第3学期の始業式に続いて、硬筆と毛筆に分かれ、書初大会を行いました。1、2年生は各教室で、3年生は2階のワークスペースや多目的ホール、4～6年生は体育館で、「春の海」の厳かな和楽器の調べに乗せて、今まで練習した成果をしっかりと発揮しようと、集中して取り組む姿が見られました。子供たちにとっては、日本の文化を継承し、体現する貴重な時間になりました。

1～2年：各教室

3年：ワークスペース等

4～6年：体育館



## 第2回学校評価アンケートの結果について

第2学期末に実施した「学校

評価アンケート」の結果がまとまりました。保護者の皆さんや地域の方々のご支援により概ね数値目標に近い結果になりました。やはり、「丁寧な言葉遣い」や「体を動かす」に関して、子供たちと保護者の意識に差があります。本校の課題の一つとして捉え、各

教室の言語環境を見直したり、なわ跳び等の冬場にできる運動を工夫して体力づくりに取り組んだりするとともに、学校であったことを「あったか家族の日」

目指す子供像 〔児童の数値目標〕	評価項目	児童		保護者	
		前期	後期	前期	後期
知：よく考える子 〔85%以上〕	・授業が楽しい ・授業がよく分かる	85.6 93.0	86.9 94.0	※	※
徳：やさしい子 〔85%以上〕	・丁寧な言葉遣いができる ・思いやりのある行動ができる	83.9 93.0	92.5 95.1	78.3 87.61	76.9 88.5
	・学校へ行くのが楽しい	90.0	91.8	※	※
体：たくましい子 〔90%以上〕	・進んで運動したり、天気の良い日は、友達と仲よく遊んだりしている。	91.9	94.8	88.0	83.1

等に語り合う時間として考えていきたいと思えます。なお、結果については第3学期及び来年度の学校運営の参考にさせていただきたいと思えます。

## 「家族のよいところ、新小よいところ！」

射水市で取り組んでいる「あったか家族応援プロジェクト」に合わせて、家族の形態ではなく、あなたの家族のよいところと、新湊小学校の長所を「校長からの冬休みの宿題」にしました。低学年の保護者の方で困られた方もおられ、ご迷惑をおかけしました。また、ご協力ありがとうございました。



さて、家族のよいところについては「いやなことがあってもしっかり話を聞いてくれる」「笑顔で励ましてくれる」「悪いときは叱ってくれる」「仲がよく団結している」「家族のために働いてくれる人がいる」など、家族同士の絆の深さについての意見が多かったように思います。また、新湊小学校のよさは「元気な挨拶」「一生懸命掃除」「優しい心」「広がる歌声」「歴史と伝統がある」「勉強をしっかりと教えてもらえる」と、自分の学校や地域に誇りをもっていることが伝わってきました。私は、外へ向かって取り組むことの多い子供たちにとって、家庭や地域の中での学校の存在意義に立ち戻ることを再認識する機会となりました。以下は子供たちの文章です。

- 1年A児：家族と一緒に食べることが、本当に楽しいです。
- 2年B児：泣いていたら、「大丈夫だよ。またがんばろうね」と、優しく声をかけてくれる家族がいます。
- 3年C児：はまっ子のよいところを一生懸命に考えました。「ありがとう」「ごめんね」の声が周りの人から言ってもらえることです。
- 4年D児：自分の家族で当たり前だと思っていたことが、家族のよさと分かってうれしいです。
- 4年E児：友達に優しくしてもらっているので、今度は自分も優しくしようと思います。
- 5年F児：家族は、思いやりや協力することの大切さを教えてくれる存在です。
- 5年G児：自分のことを心配してくれる家族への感謝の気持ちを忘れません。
- 6年H児：今まで、生活の中であまり考えたことがなかったことをじっくり考えました。
- 6年I児：家族や学校のよさに向き合えました。よいところが見つけれられてよかったです。
- 6年J児：これからは、この2つのことを自信をもって言えるようにしていきたいです。

